

# 教務通信 第3号(生徒取材)

～誰もが学びとやりがいのある生活を～

令和7年 6月 6日(金)発行  
宮城県岩出山高等学校  
文責 教務部

## ○生徒に聞いてみた★

第一回考査までおよそ10日となりました。1年生にとっては、高校の授業に慣れてきたところで、初の考査です。2、3年生は、進路に直結する重要な考査ととらえていると思います。今回は、これまでの考査で優秀な成績を収めてきた生徒に、「テスト勉強をする際のスタイルや授業での取り組み」について聞いてみました。

学年等	生徒	取材結果
3年生	SHさん	単元毎に自分でテストを作成。全部できるまで何度でも取り組む。英語は、好きな映画を英語字幕で見ると音とスペルがリンクするし、ストーリーが頭に入っているので、音に集中できる。
	HRさん	暗記が得意なので、ひたすら書いて覚える。問題文ごと覚えてしまう。基本的には持っている勉強材料は全部暗記。数学などの計算はシャープペンで、英語、社会などは本気の青で書きまくる。
	KHさん	覚えたいものは、答えだけではなく、その答えに至る過程を理解した上で覚えると定着する。計算過程とか、歴史背景とか。その教科の先生のまねをして言葉にすると集中できて覚えやすい！
	MHさん	問題として与えられているものはひたすら解く。覚えにくい物は語呂合わせの唄にしてリズムでインプット！勉強は楽しく集中できた方が効率がいい。
	TMさん	授業中のノートは走り書きで情報量重視。その日のうちにノートをきれいに作り直す。復習としても有効だし、その日のうちに内容を定着させられている感じがする。頭の中の整理ができて、達成感すごい！
	ORさん	考査が近くなったら、25分学習、5分休、25分学習、を繰り返すのがいい。集中できる。書いて勉強する派。問題も、答えも書いて繰り返し取り組むことで、理解して定着する。集中力大事。
2年生	TSさん	声に出して読みながら、ひたすら書く。日中ではなく、集中できる夜に取り組む。計画を立てるよりも、その時のやる気で満足するまで勉強。1週間前から本気で。その前はゆっくり進めておく。
	SYさん	苦手科目中心に対策。授業プリントからポイントだけ+自分のメモをまとめる。先生がまとめたものを、自分に必要な情報だけのプリントにしていく。プリント数が多くても1、2枚にまとめるようにすると、テスト直前に役立つ。
	KCさん	歌にして覚える。童謡などの単調なリズムにすれば覚えやすい。英語、社会系、苦手なものに有効。語呂合わせもできる。アプリの単語カードや音声メモも活用。
	SRさん	長期の学習に自分が向いていないので、授業の時間にすべて理解すれば大抵のことはできる。理解できていなければもっと勉強するかも。。。授業中は超集中。なんでもメモする。先生の話に引き込まれて超集中。
	KSさん	社会系の学習に集中している。教科書から重要な単語をピックアップ、まとめていく。問題を作ったりすると、記憶の定着が進む。穴埋め問題や、用語の説明問題。凝り過ぎると時間が・・・。
	HKさん	生物の学習に時間を割いている。授業プリントの内容から重要な用語と説明を拾ってノートにまとめていく。イラスト、図表があると見やすくて◎。追い込み学習の時にもかなり役に立つ。赤シートで何度も学習できるよう、赤ペンをうまく使っている。説明文も自分でまとめると、覚えやすい。記憶に残りやすい。
MYさん	短期集中型だったのでテスト前期間からスクランブル始動。TVやスマホは完全に絶って勉強していた。スマホが気になってしまうので、勉強している手元が映る動画を流すと誰かと一緒に勉強している気持ちになって頑張れた。お気に入りの青ペン1本を使い切るまで書いて勉強した。	
学生期	HMさん	短期集中型だったのでテスト前期間からスクランブル始動。TVやスマホは完全に絶って勉強していた。スマホが気になってしまうので、勉強している手元が映る動画を流すと誰かと一緒に勉強している気持ちになって頑張れた。お気に入りの青ペン1本を使い切るまで書いて勉強した。
学生期	KYさん	苦手科目の英語、数学を優先した。とにかく重要だと思う物から取り組んだ。理科や社会は授業で理解しておいた。テストは詰め込んだものを吐き出す場！英語は日本語訳と英文を頭にたたき込む。その後音読して英文を覚え込む。理科や社会はたくさん問題を解くためにも問題集を買ったりもした。

学生期	MMさん	ノートにたくさんメモを取る！先生の言葉の聞き漏らしがないくらい集中して授業を受ける。わからなかったらその日のうちに解決。授業ではたくさん発言+アウトプットで覚えていた。ひたすら書く。暗記科目は青ペンで。数学は解いたものを復習できるようにボールペンで書いて、2回同じミスがないように、なぜ間違えたのかを解説を見ないで自力で答えにたどりつくようにしていた。
学生期	OTさん	テストは、スピードを意識してわからないものは飛ばして1回解く。2回目は少しじっくりで全部解答。問題に間違えた回数を正の字でメモ。授業で、何でもメモ。ペンでしかメモしなかった。大事な物は目立つようにメモ。暗記科目は自分で問題を作って赤ペン、赤シートで勉強。声に出して読んだり、歩きながら読んだりした。考査前は夜よりも早朝勉強で、朝に3時間勉強してから学校に行った。放課後は残って誰かと勉強。

想像以上にそれぞれの生徒たちはスタイルやこだわりを持っていました。これが高校で成績を伸ばしたり、キープしたりしている理由なのかと思います。取材をしていると、堂々と語ってくれる方が多くて、「自己肯定感の高さ」を感じました。だからこそ、自分のスタイルで根気強く学習を続けられるのかと思います。進路活動についても期待が持てる方々だと考えています。

## ○高校での学びと将来

この文章を読んでいただいているみなさん、「高校での学び」は何のためにあると思いますか???

「高校での勉強は進路達成のため」「単位を取るために勉強」「はずかしくないように勉強」「親に迷惑をかけないために」「勉強は、しなければいけないものだから」、といろいろあるかと思います。考え方、とらえ方は千差万別かと思えます。以下、いろいろな方から聞いた「学ぶこと」への考え方・とらえ方です。

### ～「学ぶこと」への考え方・とらえ方～

- ・将来に選択肢を残すために、今何ができるか？それを考えるのと、試するのが今です。
- ・『頭がいい』=『脳のいい状態』。目の前の問題が簡単に解決できるし、未来を楽しく創り出していくことができる。すっきりと気分もいい。そんな状態のときをどんどん増やしていくにはどうしたらいいか？
- ・勉強は自分を広げてくれる。勉強をして損はない。何かのときに自分が培ってきた力を活用して、強く生きていけるようにする。→勉強
- ・『学校の一員としてやっていく』=『社会という場で生きていくための練習、予行演習』
- ・受験は戦略・戦術を考えよう。自分にあったやり方だと疲れない。自分らしい戦術は一生使えるものになる。
- ・中高生というのは、『好きなこと』と『やらなければいけないこと=勉強』の狭間で苦しむことが多い時期。好きではないこともやるから、好きなことがいっそう楽しくなる。ならば、やってみよう。勉強。
- ・思う存分取り組んだことが成功体験として自分の中に残っていく。自分の中にゾーンと呼ばれる没頭感覚があるから、成功の回路ができる。スポーツ場面で体験した生徒はいるかもしれない。勉強でも体験を。

岩高生には、広い視野を持ち、得意なものを楽しみ、苦手なものに立ち向かい、自分の人生に没頭してほしいものです。高校での考査や学校生活での成長と変化に期待します。

### ●次回のトピック：「考査直後には？」